

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第7回中央地区まちづくり会議				
事務局 (担当課)		中央区役所 地域振興課 本庁地域まちづくりセンター 電話042-707-7049(直通)				
開催日時		平成30年12月13日(木) 19時~20時30分				
開催場所		中央公民館コミュニティ室				
出席者	委員	18人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	2人(本庁地域まちづくりセンター)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 議 題 (1) 地域活性化事業交付金について (2) 中央地区まちづくり懇談会について (3) 中央地区まちづくり会議の取り組みについて (4) その他 3 閉 会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

牛尾会長あいさつ

2 議 題

(1) 地域活性化事業交付金について

中央区内の9地区自治会連合会が合同で詐欺防止ステッカーを作成する「中央区振り込め詐欺対策事業」について、事務局から実施内容を報告した。また、中央地区に割り当てられる予定のステッカー枚数が地区の世帯数に比べて少ないことから、別途中央地区の地域活性化事業として追加のステッカーを作成する案が、役員会案として提起された。

主な意見・質疑

○詐欺被害を地域の課題として真剣に取り組むのは良いことだ。防犯指導員は、月に3回程度防犯活動を行っている。防犯に係る講話も行っており、有効だと思っている。自治会単位の防犯講話など、地道な活動を繰り返していく必要があると考える。

○今後、事業の発展として、積極的な防犯講話の実施なども考えていきたい。

○横山地区では、詐欺防止の取り組みとして、振り込め詐欺の寸劇を行ったらしい。

○詐欺と思われる電話があった場合は、まず警察に確認するよう呼び掛けている。

また、留守番電話機能を活用するよう案内している。

○ステッカーデザインについて、相模原警察署の電話番号を入れることは可能か。

9地区で作成するステッカーのデザインは、既に決定しており変更できない。中央地区として追加で作成するのであれば、そのデザインはこれから行うことになる。なお、振り込め詐欺の電話があった場合は、所管署担当課ではなく、110番に通報するよう案内されている。

○資料に記載のステッカー作成費用は、9地区合算の金額という理解でよいか。

お見込みのとおり。

○対象を高齢者世帯などに限定して配付するのは難しい。自治会に加入している全世帯を対象にし、9地区合同で作成する枚数で足りない分は、中央地区で追加作成することにすればよい。

○地区で作成するのであれば、9地区合同で作成する分は不要なのではないか。

9地区の自治会連合会長の会議で決定したものと承知している。不要ということであれば、会議の場で牛尾会長からその旨を申し入れていただきたい。

○中央地区の自治会加入世帯分は独自に作成する。9地区合同で作成するものは受け取っておいて、別途利用すればいい。

○デザインに関して、警察の電話番号を記入するほか、文字も大きく、わかりやすくしたい。

○過去、防災マイスターの活動に関連して、女子美術大学にデザインを依頼したことがある。デザインについては、外部に依頼するのも手かもしれない。

○具体的なデザインについては、役員会に一任でよいのではないか。

結果

中央地区の自治会加入世帯分の詐欺防止ステッカーを、別途地域活性化事業交付金を活用して作成する。デザインは役員会に一任とする。

(2) 中央地区まちづくり懇談会について

平成30年度中央地区まちづくり懇談会について、暫定版の結果報告書を配布し、内容を共有した。また、今後のまちづくり会議において、懇談内容に係る進捗確認を適宜行う旨、確認した。

主な意見・質疑

○まちづくり懇談会の内容は、市として録音等を行っているのか。

会議録作成担当課が録音しているはずである。

(3) 中央地区まちづくり会議の取り組みについて

今後の中央地区まちづくり会議の検討・取り組みの方向性として、今年度作成した次期総合計画・都市計画マスタープラン策定に係る中央地区まちづくり会議報告書を軸に進めていくことを確認した。対応主体を行政等としている項目については、次期計画への反映状況とその後の進捗をまちづくり会議において定期的に確認し、対応主体に市民が含まれる内容については、対応方策の具体化に向け、次回まちづくり会議に各委員が取り組み案を持ち寄ることとした。

(4) その他

議題外で、まちづくり会議において意見・情報共有の必要な内容について、自由に発言・意見交換を行った

主な発言内容

○地域活動における役職には、任期のないものが多く、極端に言えば体調を崩して続けることができなくなって初めて交代できるという状況も目にする。ある程度活動期間に目途がないと、次の世代の人を誘うのも難しい。地域活動に、積極的に任期を設けるべきと考える。

○会場にもよるが、高齢者にとって夜の会議に出席することは負担が大きい。任期を設けるのが適切なかわからないが、地域活動を次の世代に引き継ぎ、一部の人間に負担が集中しないようにするための方法論を議論することは必要だろう。

○検討していくべき課題だと思う。皆さんからも解決の糸口となるような提案をいただきたい。

○会議への出席に絡んで、まちづくり会議委員の選出母体の選定や委員の推薦に関しては、地区に裁量があるという理解でよいか。

まちづくり会議の会則に定めている内容であり、まちづくり会議で議論いただければ変えることができる。また、各団体からの委員の推薦に際しては、必ずしも団体代表に限定せず、選出母体の団体に情報を反映できて、可能な限り会議に出席できる方の推薦をお願いしている。

○他地区に比べてまちづくり会議に女性委員が少なく、一年を通じて出席の無い委員もいる。地域意見の反映という意味で偏りを懸念しており、次期委員選任の際には改善したい課題である。

○地域の会議にはいつも同じ人ばかりが出席している印象がある。まちづくり会議にも、自治会長や各団体の役員以外の有志を出席させることができないか。

中央地区では公募委員制度を採用している。公募枠で申し込んでもらえれば、他の地域活動団体に属していなくても委員となることはできる。

○淵野辺公園の樹林広場にある遊具の改修にあたって、公園課主催のワーキングが先日開かれた。松が丘自治会にも声掛けがあり参加したが、皆さんはご存じないか。住所が弥栄なのに弥栄自治会に声掛けがないのも不思議だった。

牛尾会長には事前に情報提供しているが、自治会への参加依頼は公園課が行っており、中央地区では樹林広場に隣接する松が丘自治会のみが対象となっている。ほかに光が丘地区の自治会に声掛けをしていると聞いている。

○淵野辺公園といえば、銀河アリーナのプール廃止について事前に説明がなかった。地域全体に関わる内容は、地域からの意見聴取の場を事前に用意し、広く周知を行うべきと考える。

○地域づくり大学で南区区民会議議長の松下氏の講義を聞き、南区区民会議の取り組みを知った。女子美術大学学生の区民会議への参加や、若者の地域参加を促すための「まちづくりのトリセツ」作成など、担い手不足に対する興味深い取り組みが多かった。「まちづくりのトリセツ」は市の Web サイト上で見るできるので、ぜひ見てもらいたい。また、機会があれば、松下氏を招いて、講義を受けるのもいいだろう。

○来年度から、青山学院大学に地域課題解決の専門家を育成する学部が開設されると聞く。大学との連携を考えるいい機会かもしれない。

3 閉会

以 上

第7回中央地区まちづくり会議(12月13日開催)出席委員名簿

	氏名	役職	選出団体名等	出欠
1	牛尾 良一	会長	中央地区自治会連合会	出席
2	鳥海 千秋		中央地区自治会連合会	出席
3	中川 清一		中央地区自治会連合会	出席
4	徳田 文夫	副会長	中央地区社会福祉協議会	欠席
5	鎌倉 轟		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
6	小金澤 近雄		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
7	篠崎 久誉		中央地区民生委員児童委員協議会	欠席
8	今井 千春		中央地区老人クラブ連合会	出席
9	岡野 博		中央地区青少年健全育成協議会	出席
10	松田 正則		中央地区健康づくり普及員協議会	出席
11	島村 春男		中央地区防犯協会	出席
12	山田 章		交通安全協会	出席
13	岩下 孝二		中央地区連合自主防災隊	出席
14	中西 智子		中央小学校PTA	欠席
15	力石 武史		弥栄小学校PTA	欠席
16	佐藤 匠		富士見小学校PTA	出席
17	岡本 和茂	副会長	中央公民館	欠席
18	浦上 裕史		中央地区内商店街	出席
19	澤畔 正裕		中央高齢者支援センター	欠席
20	代田 昭		地域有識者	欠席
21	布施 初子		公募委員	出席
22	倉澤 良明		公募委員	出席
23	木口 榮		公募委員	出席
24	小澤 隆宏		公募委員	出席
25	井之上 久		公募委員	出席